

2021年9月3日

近鉄不動産株式会社

あべのハルカス美術館 展覧会 「庵野秀明展」、「出版120周年 ピーターラビット™展」開催決定！

日本一高いビル「あべのハルカス」16階の「あべのハルカス美術館」では、日本美術や西洋美術、現代アートなど多彩な展覧会を開催しています。

2021年度後半は9月より「tupera tupera のかおてん。」、11月より「コレクター福富太郎の眼」、1月より「イスラエル博物館所蔵 印象派・光の系譜」の開催を予定しております。（既報のとおり。詳細は別紙参照）上記3本の展覧会に続き、新たに2022年度前半に開催する展覧会が決定しましたのでお知らせします。

「庵野秀明展」

会 期：2022年4月16日（土）～6月19日（日）

開 催 趣 旨：総監督を務めた最新作「シン・エヴァンゲリオン劇場版」が、興行収入100億円を突破し、今なお記録を伸ばし続けている庵野秀明。本展は、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫ります。自身の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュアなどをはじめ、アマチュア時代から現在までの直筆の膨大なメモやイラスト、独自の映像作りに欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセットに至るまで多彩な制作資料を余すところなく展示する世界初の展覧会です。

庵野秀明 HIDEAKI ANNO EXHIBITION 展

①

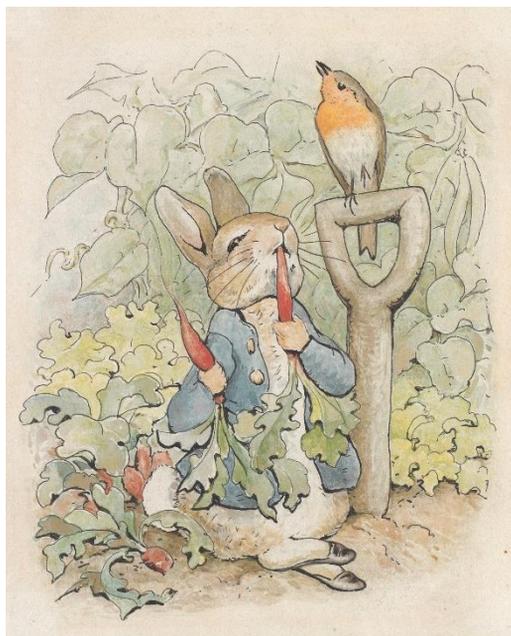
「出版120周年 ピーターラビット™展」

会 期 : 2022年7月2日(土)~9月4日(日)

共 催 : 朝日新聞社、関西テレビ放送、東映

開催趣旨 : 今なお世界中で愛され続けるいたずらなうさぎ、ピーターラビット™。

作者のビアトリス・ポター™によって紡ぎ出され、ロンドンのフレデリック・ウォーン社から出版された物語は、2022年に出版120周年を迎えます。本展は、ピーターラビット誕生前夜から今日に至るまでの歩みを作品や資料合わせて約170点から振り返るものです。物語の原点である絵手紙と、『ピーターラビットのおはなし』の彩色原画全点が一堂に展示されるのは日本初の機会となります。



② 《『ピーターラビットのおはなし』挿絵用の原画》
1902年 フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017



③ 《『ピーターラビットのおはなし』挿絵用の原画》
1902年 フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

In association with Frederick Warne & Co:



PETER RABBIT™ & BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2021.
Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, copyrights and trademarks in
the Beatrix Potter character names and illustrations.
Licensed by Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.

～ あべのハルカス美術館 2021年9月～2022年9月 展覧会ラインアップ ～

	2021年 9月	10月	11月	12月	2022年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
展覧会	tupera tupera のかおてん.		コレクター福富太郎の眼		イスラエル博物館所蔵 印象派・光の系譜			庵野秀明展		出版120周年 ピーターラビット™展			
会期	2021年9月17日(金) ～ 11月7日(日)		11月20日(土) ～ 2022年1月16日(日)		1月28日(金) ～ 4月3日(日)			4月16日(土) ～ 6月19日(日)		7月2日(土) ～ 9月4日(日)			

【詳細】

I. tupera tupera のかおてん.

会 期：2021年9月17日(金)～11月7日(日)

共 催：読売テレビ、東映、ローソンチケット

開 催 趣 旨：亀山達矢と中川敦子によるクリエイティブ・ユニットtupera tupera（ツペラ ツペラ）は2002年に活動を開始して以来、絵本を中心に幅広い分野で活躍してきました。本展では彼らのアイディアとユーモアの源泉である「顔」をテーマに、人気の絵本原画から映像、大型立体作品まで、さまざまな作品を展示します。めくるめく楽しい「かお」だらけの世界へようこそ！



tupera tupera 《かおカオス》
2020年 作家蔵 撮影:吉次史成 ©tupera tupera



tupera tupera 《床田愉男》
2020年 作家蔵 撮影:阿部高之 ©tupera tupera

II. コレクター福富太郎の眼

会 期：2021年11月20日（土）～2022年1月16日（日）

共 催：関西テレビ放送、読売新聞社

開 催 趣 旨：高度成長期を生き生きと駆け抜けた実業家・福富太郎（1931～2018）は、近代日本絵画の屈指のコレクターでもありました。本展は、作品を追い求めた福富太郎の眼に焦点をあて、鏗木清方や北野恒富に代表される東西画家の美人画をはじめ、時代を映す黎明期の洋画から戦争画に至るまで、その類まれなるコレクションの魅力を約80点の作品をとおしてご紹介します。



北野恒富《道行》
1913年頃 福富太郎コレクション資料室蔵



岡田三郎助《ダイヤモンドの女》
1908年 福富太郎コレクション資料室蔵

Ⅲ. イスラエル博物館所蔵 印象派・光の系譜—モネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーガン

会 期：2022年1月28日（金）～2022年4月3日（日）

共 催：イスラエル博物館（エルサレム）、産経新聞社、関西テレビ放送

開 催 趣 旨：50万点にのぼる膨大な文化財を所蔵し、豊かな印象派コレクションでも知られるエルサレムのイスラエル博物館。本展では、同館所蔵の印象派の名作が初めてまとまって来日します。モネの自信作とされる《睡蓮の池》をはじめ、バルビゾン派からナビ派までの流れの中で、外光から内なる光へと向かった画家たちの「光の系譜」をたどります。



クロード・モネ《睡蓮の池》

1907年 イスラエル博物館蔵

Claude Monet *Pond with Water lilies*, 1907

Photo ©The Israel Museum, Jerusalem

 the israel museum, jerusalem

【アクセス】

【開館時間】

火～金： 10:00 - 20:00
月土日祝： 10:00 - 18:00
*入館は閉館30分前まで

【休館日】

一部の月曜日、年末年始
展示替え期間(不定期)
*展覧会により休館日は異なります。

【所在地】

〒545-6016
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上
JR各線「天王寺」駅
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅
地下鉄谷町線「天王寺」駅
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ



以上